

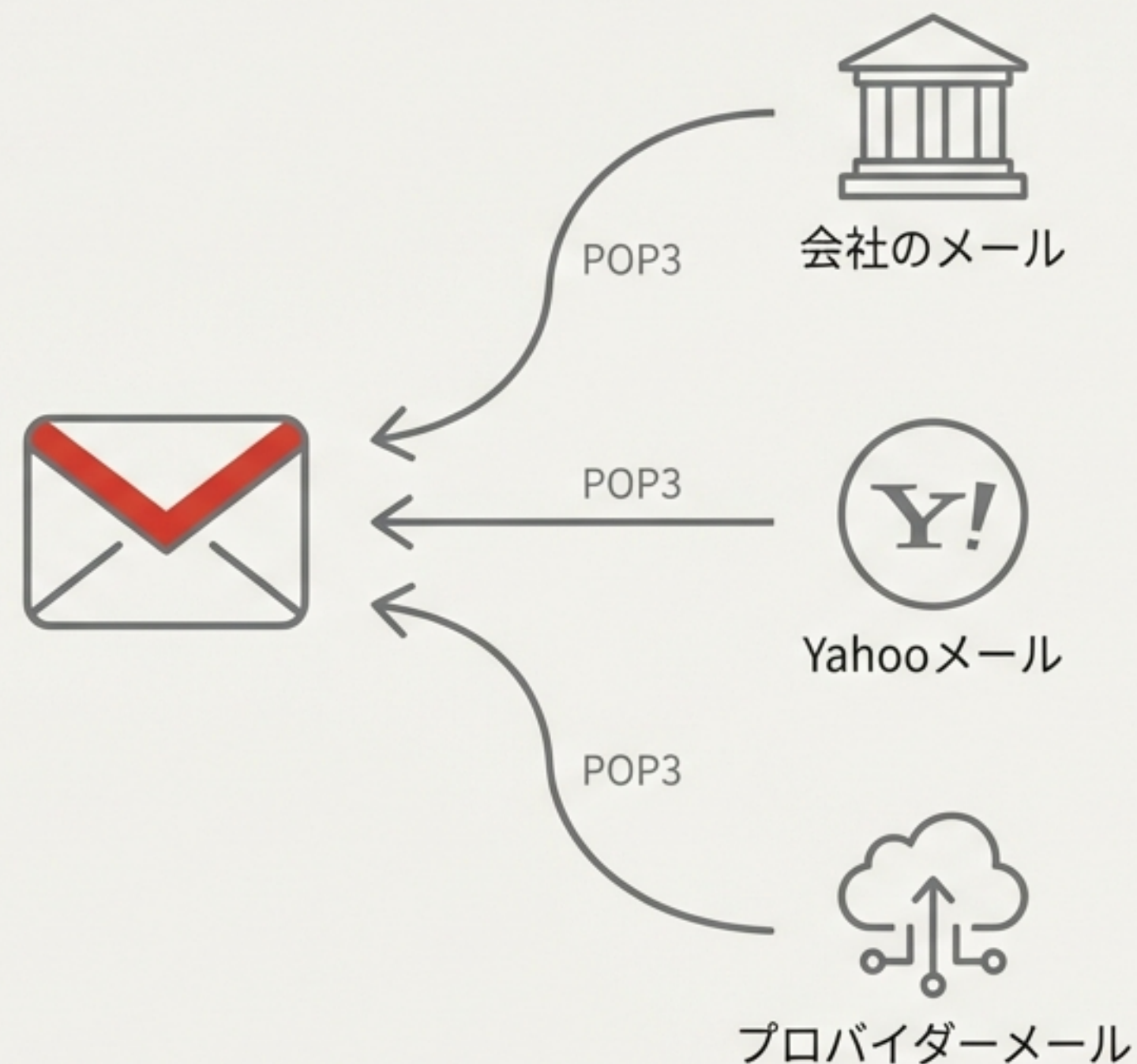


Gmailの重要なお知らせ：POP3によるメール受信機能が終了します

2026年1月をもって、Gmailで外部メールアカウントをまとめて受信する機能が利用できなくなります。今すぐ対策の準備を始めましょう。

この変更は、誰に影響するのか？

Gmailの強力な機能を活用し、複数のメールアカウント（会社のメール、Yahooメール、プロバイダーメールなど）を一つの受信トレイに集約しているユーザーが対象です。Gmailを「@gmail.com」の送受信のみで利用している方には影響ありません。



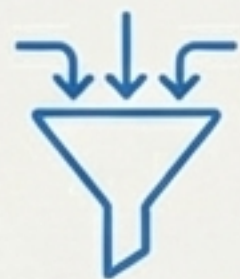
なぜこの機能は多くのユーザーに愛用されてきたのか



圧倒的なセキュリティ：GmailのAIスパムフィルターは、フィッシング詐欺や迷惑メールをほぼ完璧にブロックします。その性能差は「自転車と車」ほども異なります。



業務の効率化：会社のPCを開かずとも、スマートフォン一つでどこからでも業務メールを確認・返信できます。

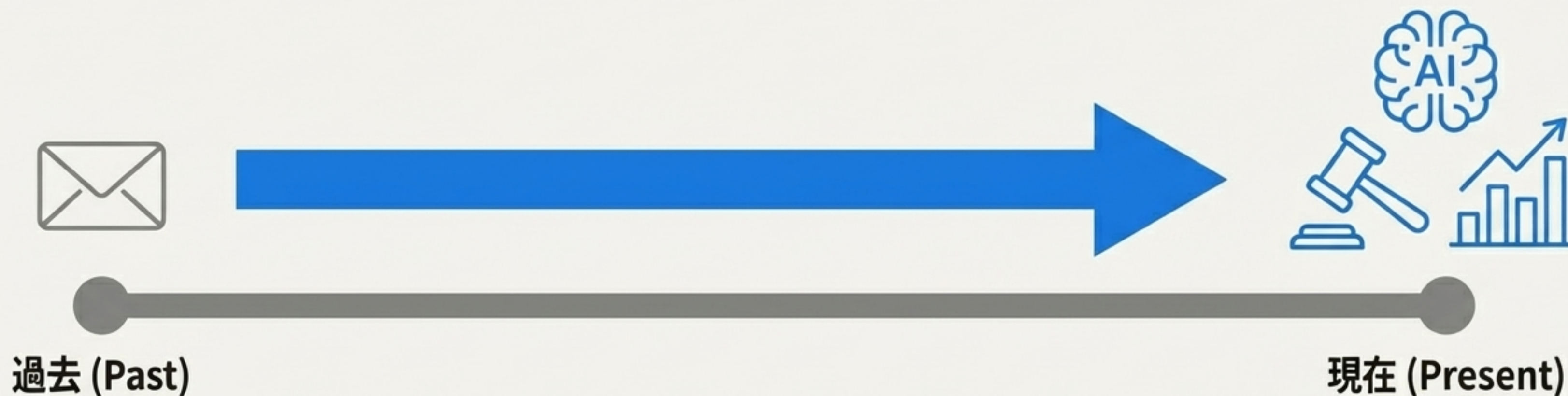


究極のシンプルさ：複数の受信トレイを個別にチェックする手間が省け、Gmailを開くだけで全てのメールを一度に確認できます。



転換点：なぜGoogleはこの便利な機能を終了するのか？

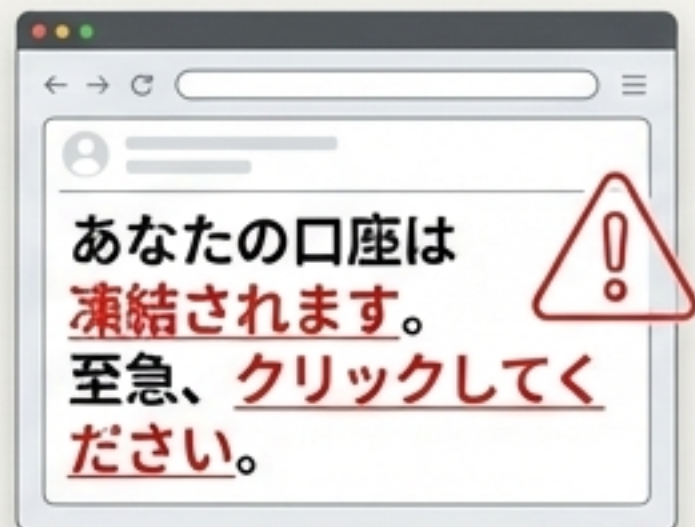
この決定の背景には、単なる機能変更ではなく、近年のメール環境の劇的な変化があります。Googleは、セキュリティ、コスト、そして法的責任の観点から、総合的な判断を下しました。



背景①：AIスパムとの終わらない戦い

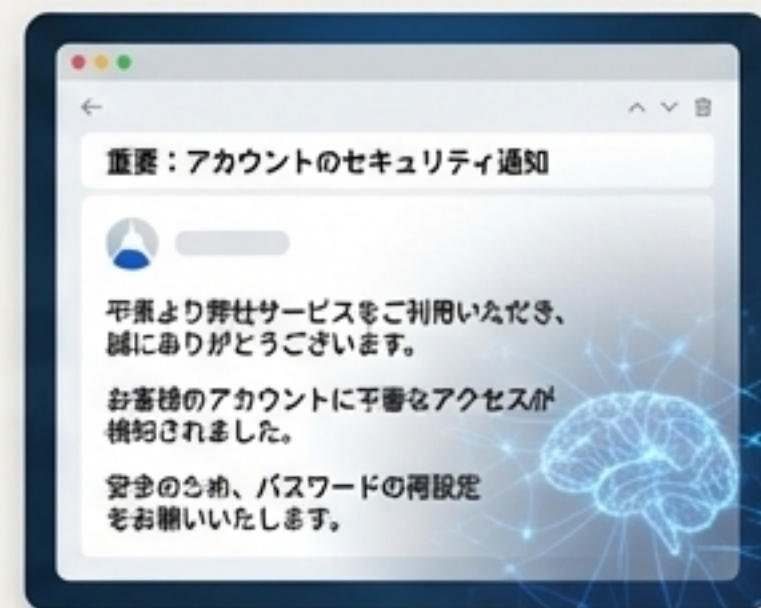
脅威の進化

- かつての迷惑メールは不自然な日本語ですぐに判別できましたが、現在はAIによって生成され、極めて巧妙かつ自然な文章になっています。



コストの増大

- スパムの量が数年で数倍に膨れ上がり、送信元の偽装も増加。これらの高度な脅威を検知・ブロックするための対策コストは、もはや無視できないレベルに達しています。



背景②：増大する法的責任とリスク

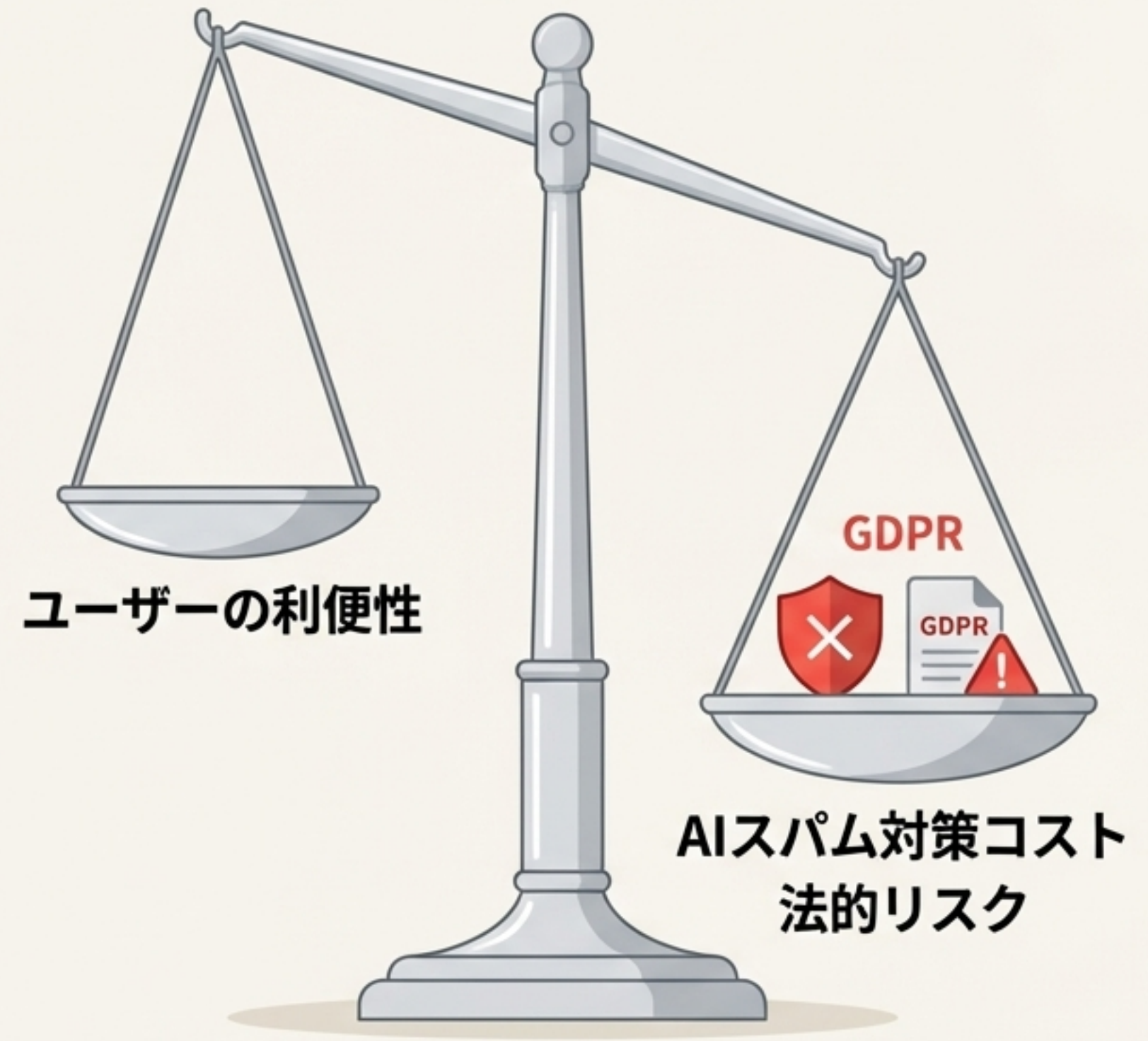
EUのGDPR（一般データ保護規則）のような厳格な個人情報保護法により、他社サーバーのメールをPOP3でGmailに取り込んだ場合、そのデータもGoogleの管理責任下に置かれることになりました。万が一問題が発生した場合、Googleが責任を問われる可能性があります。



Googleの戦略的結論： 「他者のメールの面倒を 無償で見続けるのは限界」

10年以上にわたり、Googleは他社プロバイダーのセキュリティを肩代わりしてきました。しかし、AIによる脅威の増大と法的リスクを総合的に判断し、外部メールの取り込みとセキュリティ機能の無償提供を終了するという結論に至りました。

「これは、Googleが開発したAI『Gemini』が教えてくれた情報です。」



今後の対策：Googleが推奨する2つの選択肢

POP3機能は終了しますが、Gmailで外部メールを管理し続ける方法は残されています。Googleは公式に2つの代替と一案を提示しています。あなたのワークフローに最適な方法を選択してください。



① 自動転送
(Auto-Forwarding)



② Gmailモバイルアプリ
(Gmail Mobile App)

選択肢の比較：セキュリティを維持するか、手軽さを選ぶか



対策① 自動転送

仕組み:

他社サーバー側で設定し、メールをGmailアドレスに転送する。

メリット:

- ✓ Googleの強力なセキュリティ（スパムフィルター）が引き続き適用される。

デメリット:

- ✗ 転送元プロバイダーでの設定が必要。返信設定に手間かかる。



対策② Gmailモバイルアプリ

仕組み:

スマホのGmailアプリにIMAPでアカウントを追加する。

メリット:

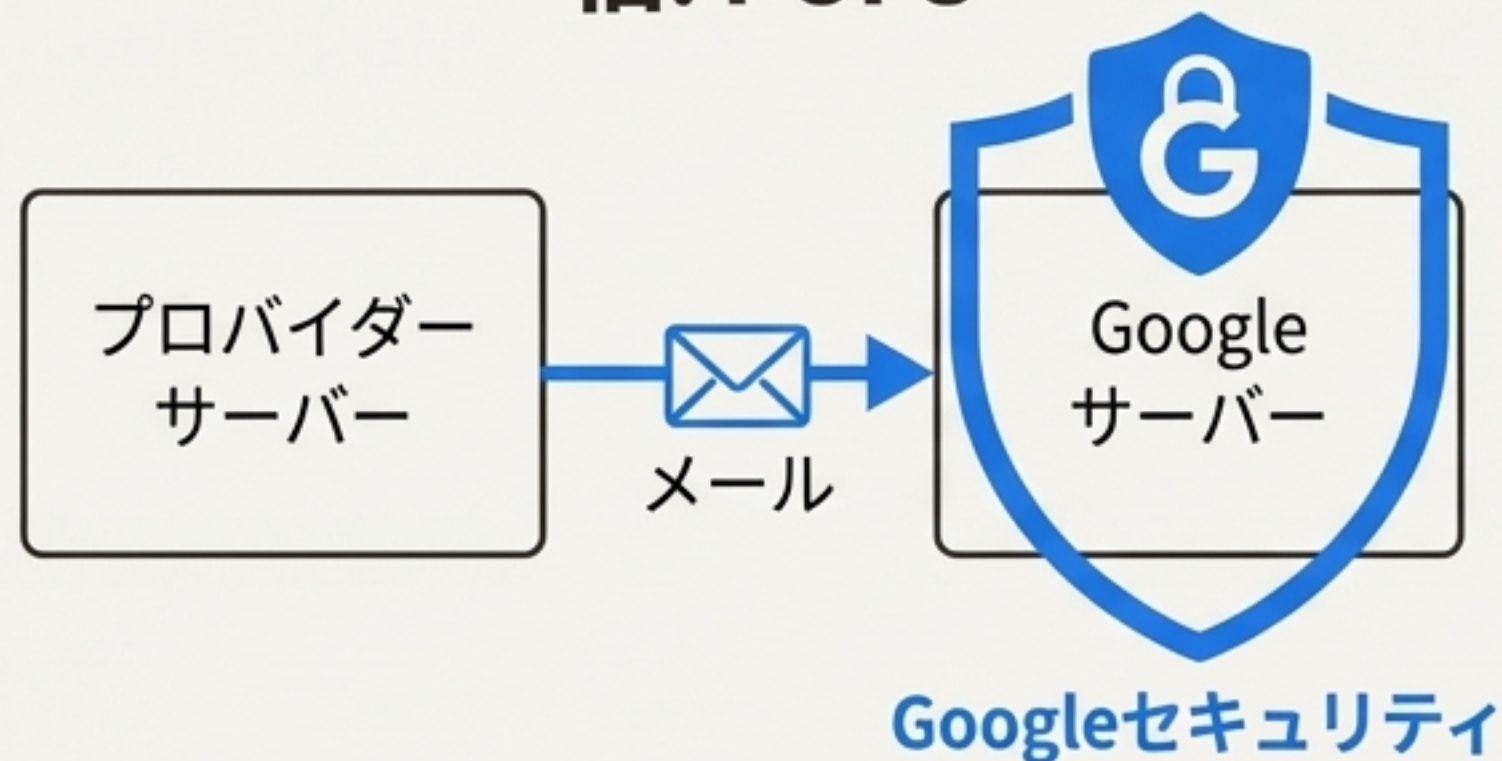
- ✓ Gmailアプリ内で設定が完結し、非常に手軽。

デメリット:

- ✗ Googleのセキュリティは一切適用されない。元のプロバイダーのセキュリティに依存する。

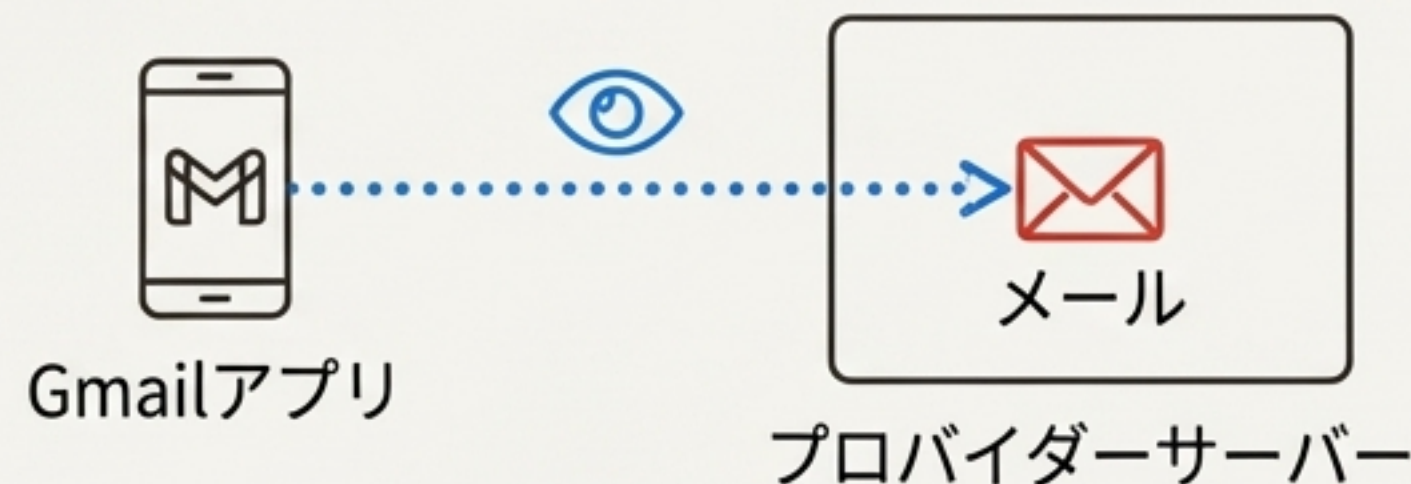
技術解説：なぜセキュリティに差が生まれるのか？ (POP3 vs. IMAP)

旧: POP3



メールが移動: データがGoogleサーバーに移るため、Googleのセキュリティが完全に機能する。

新: IMAP



メールは参照のみ: データは元のサーバーに残るため、Googleのセキュリティは働かず、プロバイダーの保護に依存する。

Playbook ①: 自動転送を設定し、Googleのセキュリティを維持する

Step 1: 転送元での設定

この設定はGmail側ではなく、メールを転送したいプロバイダー側（例：Yahoo, Nifty, 会社のメールサーバー）で行います。

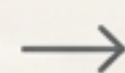
- 設定方法はプロバイダーごとに異なります。「ご利用中のプロバイダー名 メール転送」で検索すると、具体的な手順が見つかります。🔍
- 会社のメールの場合、情報システム部門の責任者に依頼が必要な場合があります。👤

Next Step : 転送設定が完了したら、次はGmail側で「元のメールアドレスから返信」できるように設定します。



重要：転送設定後、Gmailから元の差出人として返信する設定

1. Gmail画面右上の 歯車マーク → 「すべての設定を表示」をクリック。



すべての設定を表示

2. 「アカウントとインポート」タブを選択。

一般

アカウントとインポート

3. 「名前」の項目にある「他のメールアドレスを追加」をクリック。

他のメールアドレスを追加

4. 表示されたウィンドウに、相手に表示させたい名前と、転送設定したメールアドレスを入力。

名前
名前
メールアドレス
メールアドレス

5. 「エイリアスとして扱います」のチェックを外して、登録を完了。



エイリアスとして扱います

登録

6. 最後に、「メールを受信したアドレスから返信する」にチェックが入っていることを確認します。



メールを受信したアドレスから返信する

Playbook ②: Gmailモバイルアプリにアカウントを追加する (IMAP)



Warning: この方法は設定が簡単ですが、追加したアカウントのメールにはGoogleのスパムフィルターが適用されないことを再度ご確認ください。

Step 1: サーバー情報の準備

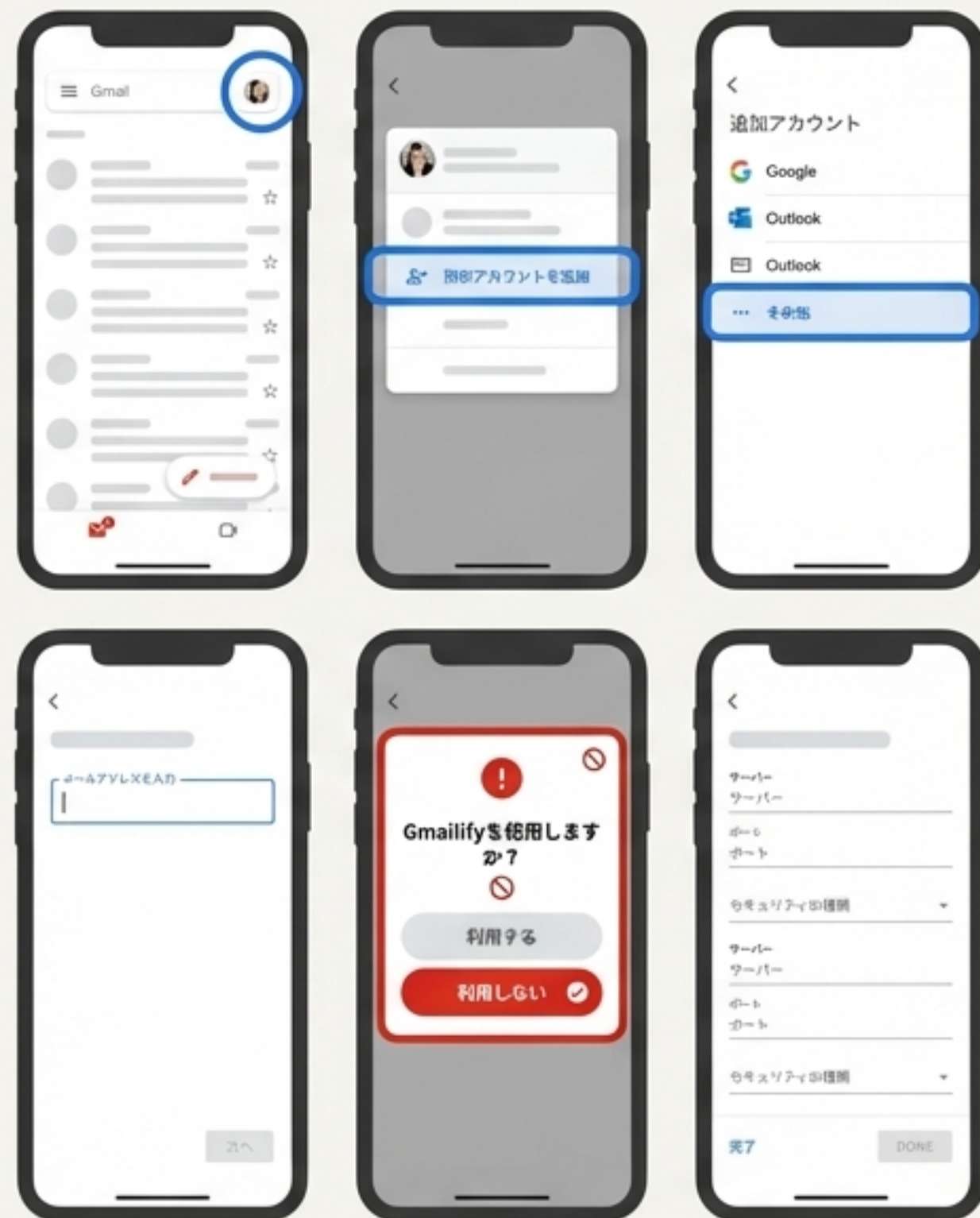
- まず、登録したいメールのIMAPサーバーとSMTPサーバーの情報を確認します。
- これらの値はプロバイダー固有のものです。「**プロバイダー名 IMAP SMTP**」で検索すればすぐに見つかります。



IMAP/SMTP

Gmailモバイルアプリでの設定手順

1. Gmailアプリを開き、右上の **ユーザーアイコン** をタップ。
2. 「**別のアカウントを追加**」を選択。
3. 「**その他**」を選択します。(Yahooメールの場合も「その他」を選びます)
4. 追加したいメールアドレスを入力します。
5. **重要**：「Gmailifyを使用しますか？」と聞かれたら、**「利用しない」**を選択してください。これが廃止される機能です。
6. 準備したIMAPとSMTPのサーバー情報を入力し、登録を完了します。

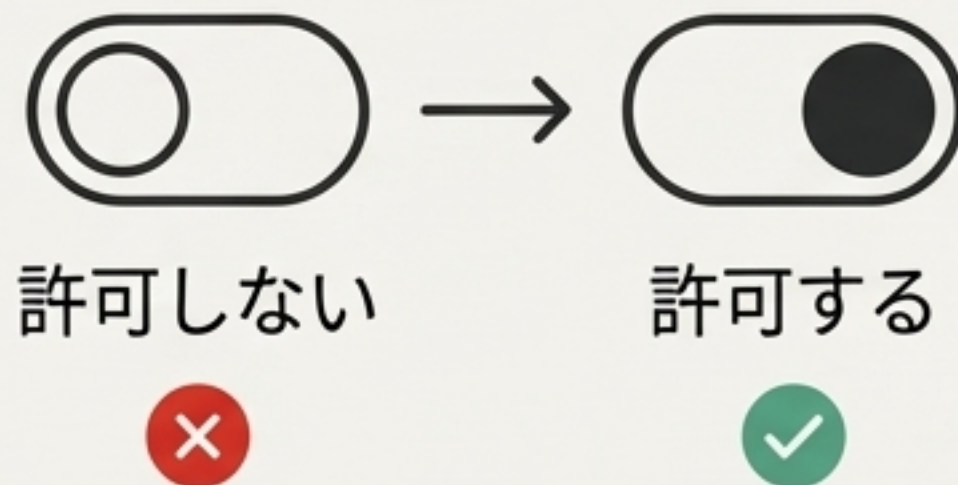




特記事項：Yahooメールを設定する場合の事前準備

YahooメールをIMAPでGmailアプリに追加する場合のみ、事前にYahoo側での設定が必要です。

1. Yahooメールにログインし、**設定画面**を開きます。
2. **「IMAP/SMTPアクセス」**という項目を探します。
3. デフォルトで**「許可しない」**になっている設定を、**「許可する」**に変更します。
4. この設定を完了してから、Gmailアプリでのアカウント追加作業を行ってください。



**あなたの選択：セキュリティを最優先するなら「自動転送」を。
手軽さを求めるなら「モバイルアプリ」を。**



セキュリティ優先 (Security First)

自動転送は、これまで通りの強力なセキュリティを維持できる最善の方法ですが、設定に少し手間がかかります。



手軽さ優先 (Simplicity First)

モバイルアプリ (IMAP) は設定が非常に簡単ですが、Googleの保護は受けられません。

どちらを選択するかは、あなたのワークフローと、迷惑メールに対するリスク許容度次第です。
2026年1月までに、最適な環境を再構築しましょう。